

令和3年度(2年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市子ども情報センター>

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 令和3年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)図書館法第3各号に規定する事項に関すること。 (2)図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3)市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4)読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5)図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P272(利用率) 開館日数:259日(R元:301日) R2:62,868冊(R元:74,531冊) (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
			②利用人数	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P273(利用人数) 開館日数:259日(R元:301日) R2:11,659人(R元:15,053人) (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	年次報告書P273~274、P280~283(文化事業一覧) ・たじみ子どもの権利の日協賛事業 ~ここにいる ぼく・わたし~ I AM HERE. 54名 ・ティーンズと創る心地よい空間 図書室レイアウトアンケートをイラストで収集、アンケートを活かした配置換えを実施。9名 ・赤ちゃん連れの子を支援する「ベビーステーション」設置 たじみ陶器まつりの中止を受けて、まちなか美術館での開催に振り替えて実施。2名 ・図書展示事業 絵本、児童書、ティーンズ、一般書等分野ごとの企画展示。65回 ・子ども夢ネット(多治見西中学・高校クイズ研究部、まんが部のサポート)年間3回 各11,200部発行。	仕様書以上 14点	・たじみ子どもの権利の日協賛事業として、誰でも参加できて、子どもやその保護者への啓発事業を展開。自分や自分のまわりにいる人たちとの関わりを考える機会を持つことができた。 ・図書室内の配置について中学生、高校生にイラストアンケートを実施。小さな子ども達のための場所としてイラストが寄せられるなど、希望の多かったレイアウトを実現し、ティーンズの声を反映させた館内作りができた。	14点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	年次報告書P274~279(文化事業一覧) 【中学生・高校生の活躍とつながり】 ・参考書や勉強法の本を集めた「学習サポートビレッジ」中学生、高校生を対象に各2か所に常設。 ・「たじみアグレッション部」多治見西中学・高校クイズ研究部、多治見西高校茶華道部。 【親子オンライン講座】 ①アート×あそび体験 身近な素材で遊んでみよう! 7月~11月 4講座 140名 キットを使用したスライム作りなどの過程が楽しいプログラム。 ②英語で歌おう! リズムで動こう! Happy Beat 10月~3月 2講座×2回 30名 おうちで準備できる楽器を使用したリズム遊びや英語の歌を楽しむアメリカ発のプログラム。 【絵本なびげーたー@おすすめの絵本紹介】 ・ボランティアの方や講師からのメッセージ、職員おすすめの絵本を集約、ブログで紹介。5月~3月まで 17回	期待以上 13点	・インターネット回線を光回線に変更し、7月に「わくわく親子講座」をオンライン講座に切り替え開催。無料アプリZoomにて家族で楽しめるプログラムの提案、質問タイム等を設けるなど交流の場を創出できた。 ・おはなしの会が開催できない代わりにボランティアや講師からのメッセージ、職員おすすめの絵本を「絵本なびげーたー」としてブログで紹介。おはなしの会開催予定日に更新し、絵本や絵本に関わる人と利用者をつなげる機会を絶やすことなく持ち続けることができた。 ・新しい生活様式に沿った利用者目線での事業展開ができています。	13点	
2	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	子ども情報センター:年次報告書P285(①清掃) ・業者による全館定期清掃年間2回、雨樋高圧洗浄を行い、高所に溜まっていた枯れ葉などを除去。・職員による常夜灯カバーの洗浄、1階図書室蛍光管カバーの清掃。日常清掃の実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②保守・点検			子ども情報センター:年次報告書P285(②保守・点検) ・消防用設備点検は、業者に委託し年2回実施。・職員による月2回の日常点検及び年2回の定期点検、空調点検をチェックシートに従い実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③保安・警備			子ども情報センター:年次報告書P285(③保安・警備) ・業者による機械警備業務を毎日実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④小規模修繕			子ども情報センター:年次報告書P286(④小規模修繕) 有償修理 全11件 総額 1,009,077円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			子ども情報センター:年次報告書P286(⑤危険箇所の把握) ・職員による月2回の日常点検及び年2回の定期点検をチェックシートに従い実施。全職員が担当することで、予防保全の観点からの建物管理を徹底し、不具合箇所の早期発見に努めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	12	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②4項目の合計点とする。	子ども情報センター:年次報告書P287(①文書管理) ・多治見市のファイリングシステムに準拠する方法により、適切に文書管理を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		②環境への配慮			子ども情報センター:年次報告書P287(②環境への配慮) ・業者による年間2回の剪定と、職員による追加剪定を実施。追加剪定は、夏場に週1回実施する等、道路への枝の張り出しで近隣の住民に危険が無いよう配慮、敷地内の緑化スペースの確保と維持保全を徹底した。 ・LED化の推進。・敷地内3か所に禁煙ポスター設置。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			子ども情報センター:年次報告書P287(③バリアフリー) ・軽度の発達障がいを持つ利用者(子ども)を把握、職員で共有し、適切な関わりを持つことで、十分に図書館を楽しんでもらうことができるよう心掛けている。 ・障がいのある方が利用される場合には、その都度職員が対応する体制をとっている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	④備品管理	子ども情報センター:年次報告書P288(④備品管理) ・備品はすべて定位置を決めて保管している。 ・必要以上に在庫を持たないことで、管理棚の省スペース化を徹底し、取り出したい備品がすぐに見つかるようにしている。 ・2階研修室利用者に向けた消毒セットを準備、整理整頓を心がけ、サービス向上に務めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					

2		⑤個人情報保護	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点)	子ども情報センター:年次報告書P288(④備品管理) ・図書館システムのサーバーは、情報流失防止対策として、事務所用回線から独立させている。 ・各種申請書等個人情報の記載された書類は、確認処理が済み次第粉碎処理。 ・講座の開催時は、撮影の可否を確認、通信やホームページの掲載に配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	2点		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	0点		
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入279,462,095円÷支出284,684,216円=98%(学習館、図書館、市民活動交流支援センター含む)	100%未満 3点	事業収支によらず一律4点とする。	4点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	子どもと一緒に過ごす時間を有意義に過ごしたい →図書企画展示を、おりがみや工作の本を集めた特集コーナーへ変更、手作りクリスマスキットの販売、クリスマスオーナメントのプレゼントを準備して、自宅でも季節や行事を楽しめる機会を持てるようなサービスを行った。 ・メリークリスマス特別キット(12月実施:40個)・まつぼっくりクリスマスオーナメント(12月実施:75個) 図書資料予約をスムーズに行いたい(感染拡大防止の観点から段階的にサービス再開を行っている期間での要望) →早期の予約再開時、オンラインでの予約サービスについての周知に努めた。オンラインシステムに関心を持つ方が増え、簡単に利用できるサービスとして運用した。 ティーンズと創る心地よい空間 レイアウトアンケートをイラストで収集 →アンケート回収時、ティーンズに聞き取り調査も実施。「絵本を見ている子どもを親が見守ることができる配置にしたかどうか」等、ティーンズコーナーだけではなく小さな子ども達のための場所も考えられたイラストが寄せられた。希望の多かったレイアウトを実現し、ティーンズの声が反映させた館内になった。 赤ちゃんママの講座を再開してほしい →ママヨガ講座 2カ月から12カ月の赤ちゃんママに向けたヨガの講座を開催。ゆっくりストレッチをする機会の少ないママに、心と体のリフレッシュタイムとして提供。定員を半分にして開催。5回講座×4回 139名	期待以上 9点	要望に対し、細やかな配慮がされた対応ができています。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となったものがある中で、感染防止の観点から、定員を半数に減らし、時間も15分短縮。その上で、研修室を最大限広く使用し、参加者同士の距離を確保、マスクとフェイスシールドを着用した参加とし、終了後は、赤ちゃんの足型アートを作成する時間を設けるなど、新型コロナウイルスへの感染に神経をすり減らす中でも、子育てを楽しむ気持ちを持ち続けることができるよう支援した事業となった。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	・声を出してしまった子どもに対して、「うるさいが、注意はしないのか。」と保護者に仰る方があり、子ども情報センターは、子ども同士のコミュニケーションの場であり、そのことをもっと良く分かるようにお知らせすることなどをお伝えし、納得いただいた。保護者には、声を出しても良いことを伝え安心してもらい、お客様によくわかるような大きなポスターに差し替え周知に務めた。	適正(普通) 4点	苦情に対して迅速に対応した。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	【子ども達と創る施設】 絵本なびげーたー@わたしのオリジナル本棚 子ども達に自分の考えるテーマで本を選んでもらいコーナーとして展示。 ・なぞとき絵本(4歳)・ぼくがなんどもよみたいえほん(4歳)・すこく面白くて絵がかわいい本(小学1年生)・かりていく本がない!面白本が読んでみたい!(中学1年生)・女の子たちにオススメのファンタジー系多めの本(中学2年生) 絵本なびげーたー@こんな展示やってほしい! 子ども達から図書展示テーマを募集し、リクエスト展示のコーナーを設けた。 ・図書館の人が面白いと思う本(中学2年生)・読みやすい小説(中学2年生) メリークリスマス みんなのまつぼっくりオーナメント 来館者からまつぼっくりを収集し、職員がクリスマスオーナメントに加工してクリスマスに配布。 【ママに届けようプロジェクト】 赤ちゃんや小さな子ども達と過ごすお母さん、お父さんの不安に寄り添い、思うようにおでかけできない日々をおうち時間の充実につなげられるよう「ママに届けようプロジェクト」を企画。 ・ほんのひとときわたしのじかん ハーブティー配布(12月実施:20名) ・足形アートで成長記録 キット配布(2月~3月実施:20名) 【新型コロナウイルス感染拡大防止の為に施策】 2階研修室網戸取替 室内の換気に留意し、網戸をより頻繁に使用するようになり、劣化による破損や不具合が起きたため、すべての網戸を新しいものに取り替えた。	期待以上 13点	・子ども達の意見や要望を丁寧に聞いた図書展示テーマは、来館者の多くが立ち止まり、展示を見た子ども達が借りたくなるようなものとなった。 ・来館者と職員が一緒になってクリスマスに向けたプレゼントづくりを行うなど、子どもたちと共に楽しむ事業展開がされている。 ・ママに届けようプロジェクトは、自粛生活を余儀なくされるストレスを抱えがちなお母さんたちへのプロジェクトを実施。子育てを楽しむ気持ちを持ち続けることができるように配慮された事業となった。	13点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	0点		
		合計	97	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下			合計85点		
							全体的な評価 ・オンライン講座やホームページを見直し、おすすめの本をブログで紹介するなどのコロナ禍でもできる創意工夫した事業が展開されている。 ・来館者である中高生の意見を取り入れ、館内のレイアウトを変更するなど、中高生の図書館に対する興味を引き出し、子どもたちと創る図書室が実現できている。 ・子どもだけでなく、保護者の気持ちに寄り添った事業も実施し、子育てを支える施設としての事業展開ができた。	極めて良好	